

株式会社ノジマ 2023年3月期 上期 決算説明会

2022年10月31日

取締役兼代表執行役社長 野島廣司

証券コード：7419

<http://www.nojima.co.jp/>



目次

01

ノジマ連結 2023年3月期 上期 決算実績

P03

02

セグメント別 2023年3月期 上期 決算実績

P09

03

トピックス

P17

04

2023年3月期 業績予想

P24

05

ノジマグループについて

P27

01

ノジマ連結

2023年3月期 上期 決算実績

ノジマ連結 上期 決算実績

01

ノジマ連結
2023年3月期 上期 決算実績

(単位：百万円)

	22/3期上期		23/3期上期	
	実績	前年比(%)	実績	前年比(%)
売上高	270,605	112.4	272,338	100.6
売上総利益	80,605	108.4	82,280	102.1
販管費	66,766	117.5	64,864	97.2
営業利益	13,838	79.1	17,415	125.9
経常利益	15,184	79.7	19,053	125.5
親会社株主に帰属する 当期純利益	9,762	74.4	12,764	130.7
EBITDA	23,455	88.7	27,910	119.0

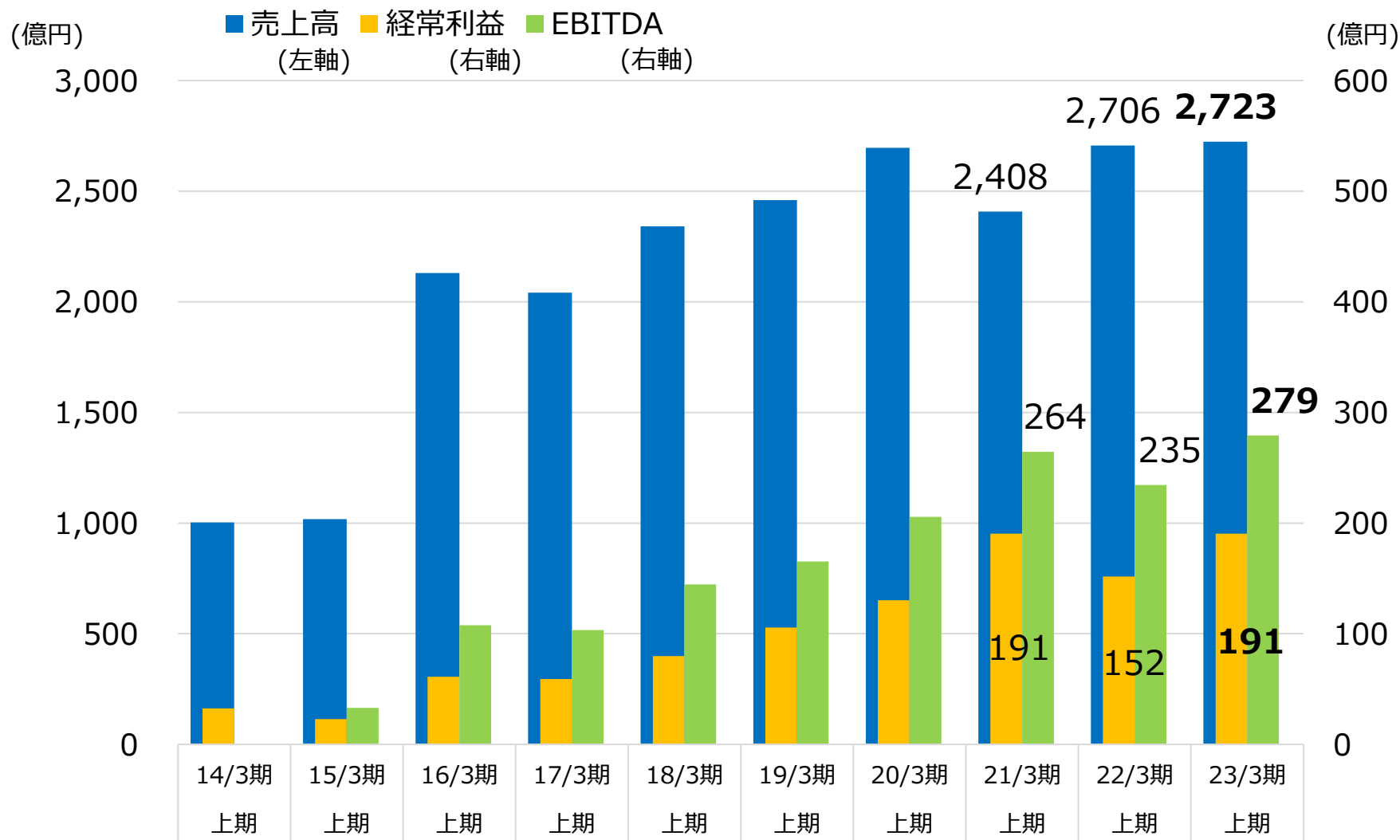
※EBITDA = 経常利益 + 支払利息 + 社債利息 + 減価償却費 + のれん償却額 - 持分法による投資利益

※21/3期上期の経常利益・純利益からスルガ銀行等の持分法による投資利益251億円を除く。

ノジマ連結 上期 業績推移

01

ノジマ連結
2023年3月期 上期 決算実績



※経常利益からスルガ銀行等の持分法による投資利益251億円を除く。

ノジマ連結 貸借対照表

01

ノジマ連結
2023年3月期 上期 決算実績

(単位：百万円)

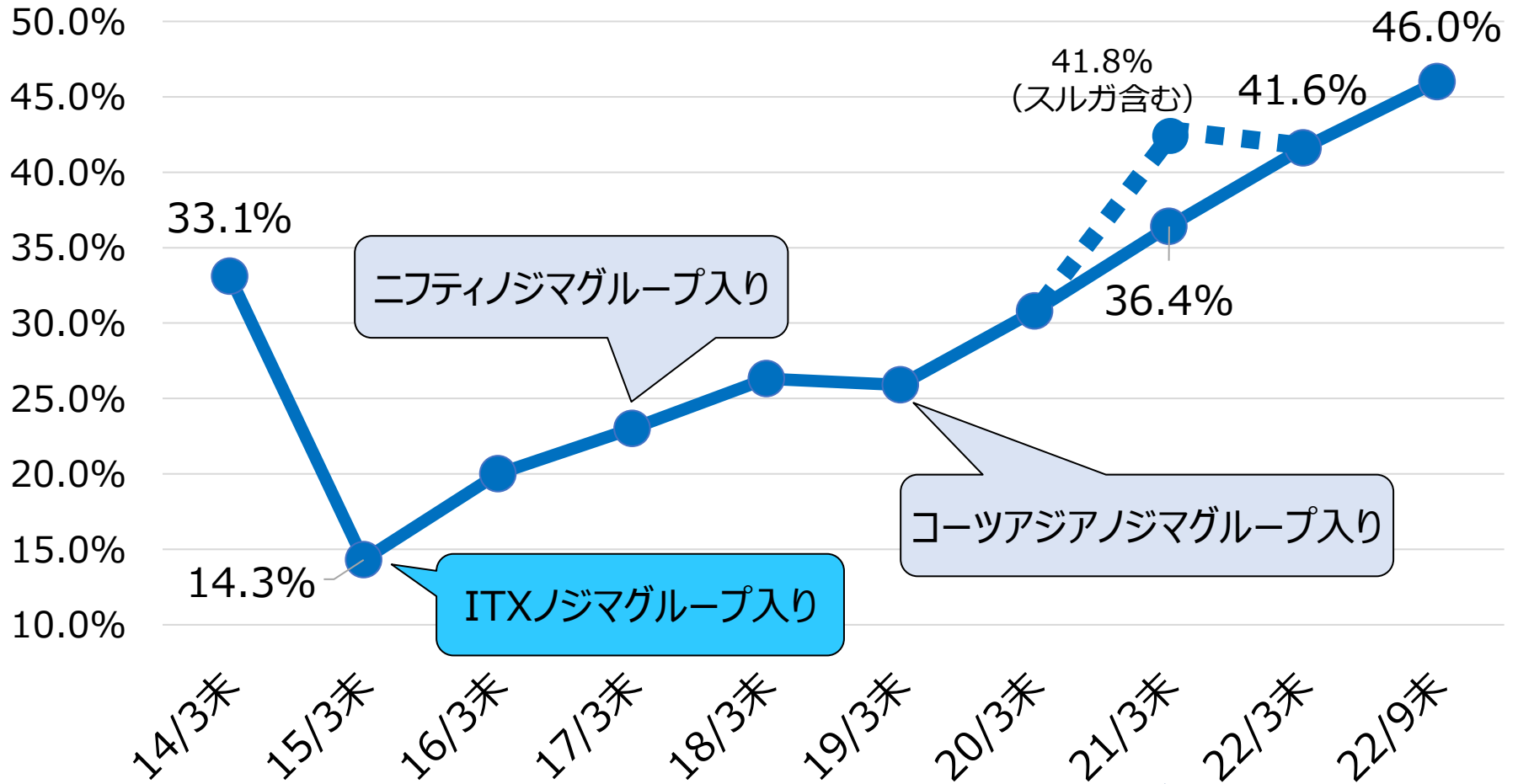
	22/3末	22/9末	増減額
流動資産合計	183,963	175,421	▲8,542
現金及び預金	31,007	47,487	16,480
売掛金	69,063	54,193	▲14,870
商品	50,735	60,971	10,236
その他	33,158	12,769	▲20,389
固定資産合計	142,988	143,483	495
有形固定資産	54,262	54,497	235
無形固定資産	60,230	56,350	▲3,880
投資その他の資産	28,496	32,635	4,139
資産合計	326,952	318,904	▲8,048

	22/3末	22/9末	増減額
流動負債合計	126,971	109,511	▲17,460
支払手形及び買掛金	57,151	52,505	▲4,646
短期借入金	1,616	2,428	812
1年内返済予定の長期借入金	8,224	3,907	▲4,317
1年内償還予定の社債	5,000	0	▲5,000
その他	54,979	50,671	▲4,308
固定負債合計	59,879	58,696	▲1,183
長期借入金	9,074	6,524	▲2,550
社債	0	0	0
その他	50,805	52,171	1,366
負債合計	186,851	168,208	▲18,643
純資産合計	140,101	150,696	10,595
負債純資産合計	326,952	318,904	▲8,048
有利子負債	23,914	12,859	▲11,055
自己資本比率	41.6%	46.0%	4.4pt

ノジマ連結 自己資本比率推移

01

ノジマ連結
2023年3月期 上期 決算実績



※21/3末の自己資本比率は、スルガ銀行の影響額を除いて計算しております。

ノジマ連結 キャッシュ・フロー計算書

01

ノジマ連結
2023年3月期 上期 決算実績

(単位：百万円)

	22/3期 上期	23/3期 上期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	22,299	18,122	▲4,177
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲11,449	▲6,069	5,380
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲5,575	▲16,361	▲10,786
現金及び現金同等物の増減額	5,228	▲3,517	▲8,745
現金及び現金同等物の期首残高	18,513	51,004	32,491
現金及び現金同等物の期末残高	23,742	47,487	23,745

02

セグメント別 2023年3月期 上期 決算実績

セグメント別実績サマリー

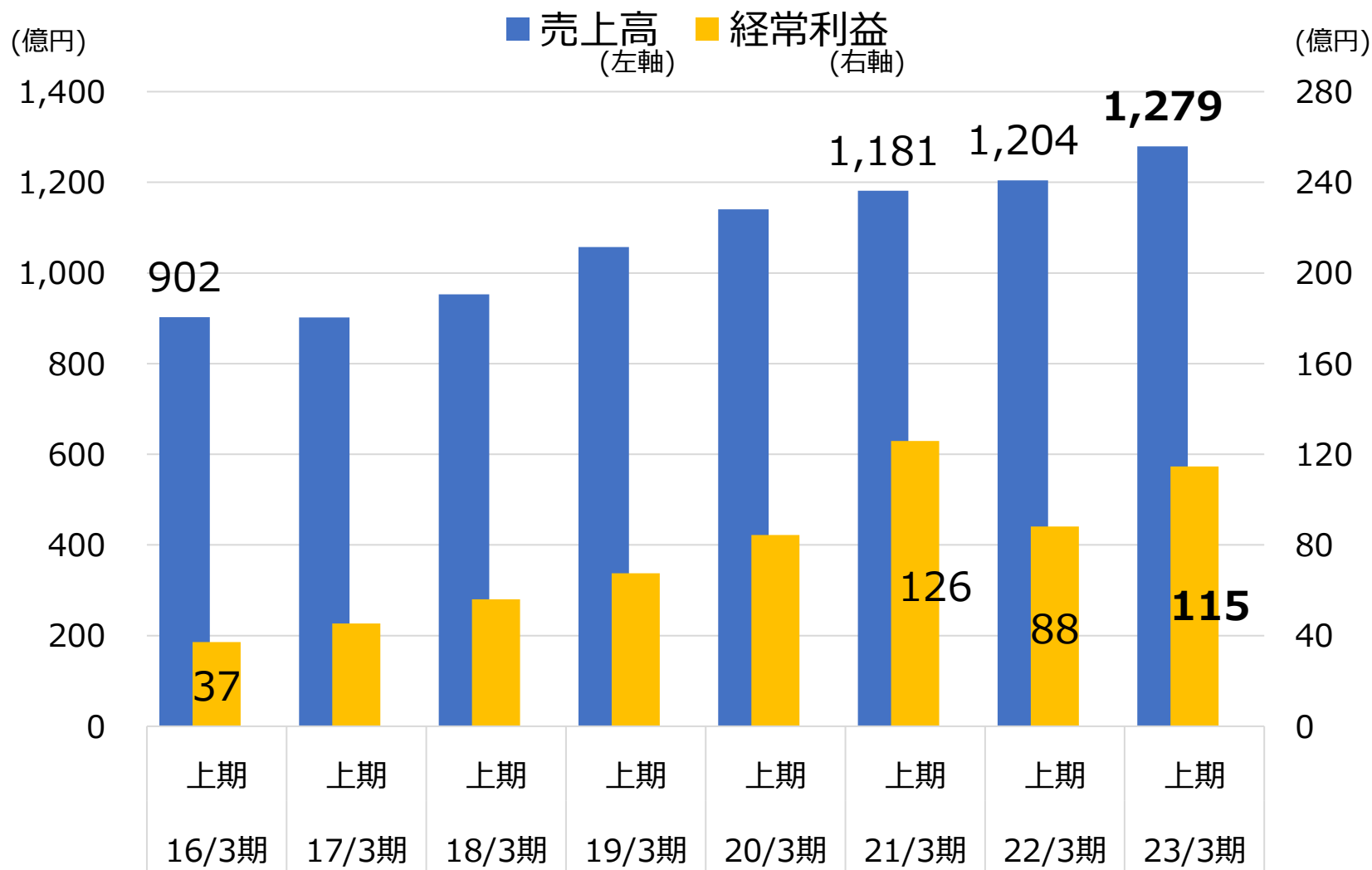
02

セグメント別
2023年3月期 上期 決算実績

		上期実績 (百万円)	前年同期比 (%)
デジタル 家電専門店	売上高	127,911	106.2
	経常利益	11,465	130.1
キャリアショップ	売上高	84,229	94.6
	経常利益	2,636	105.0
インターネット	売上高	33,582	90.4
	経常利益	3,347	122.6
海外	売上高	24,014	118.4
	経常利益	925	112.2

デジタル家電専門店運営事業 上期 業績推移

02

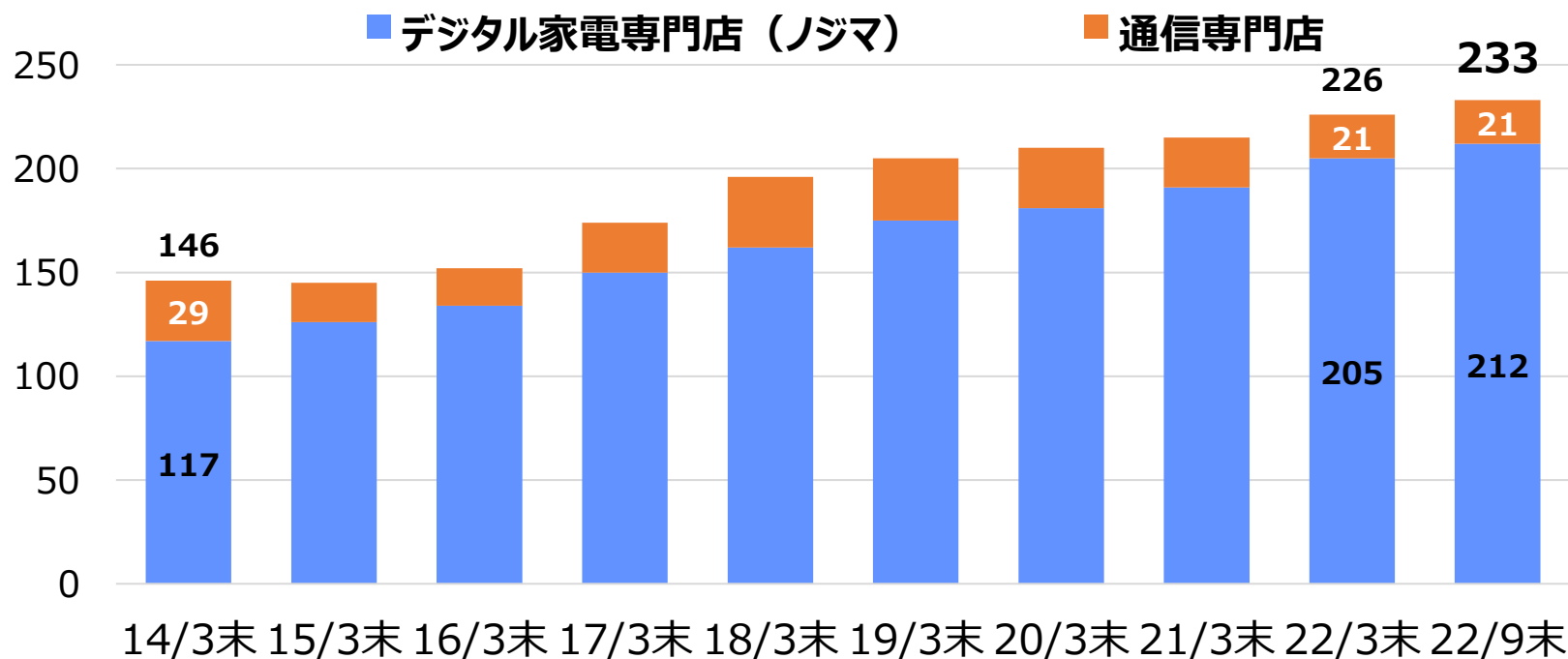
セグメント別
2023年3月期 上期 決算実績

デジタル家電専門店運営事業 出退店・店舗数推移

02

セグメント別
2023年3月期 上期 決算実績

	デジタル家電専門店	通信専門店
新店	9 店舗	0 店舗
閉店	2 店舗	0 店舗
増減	7 店舗	0 店舗

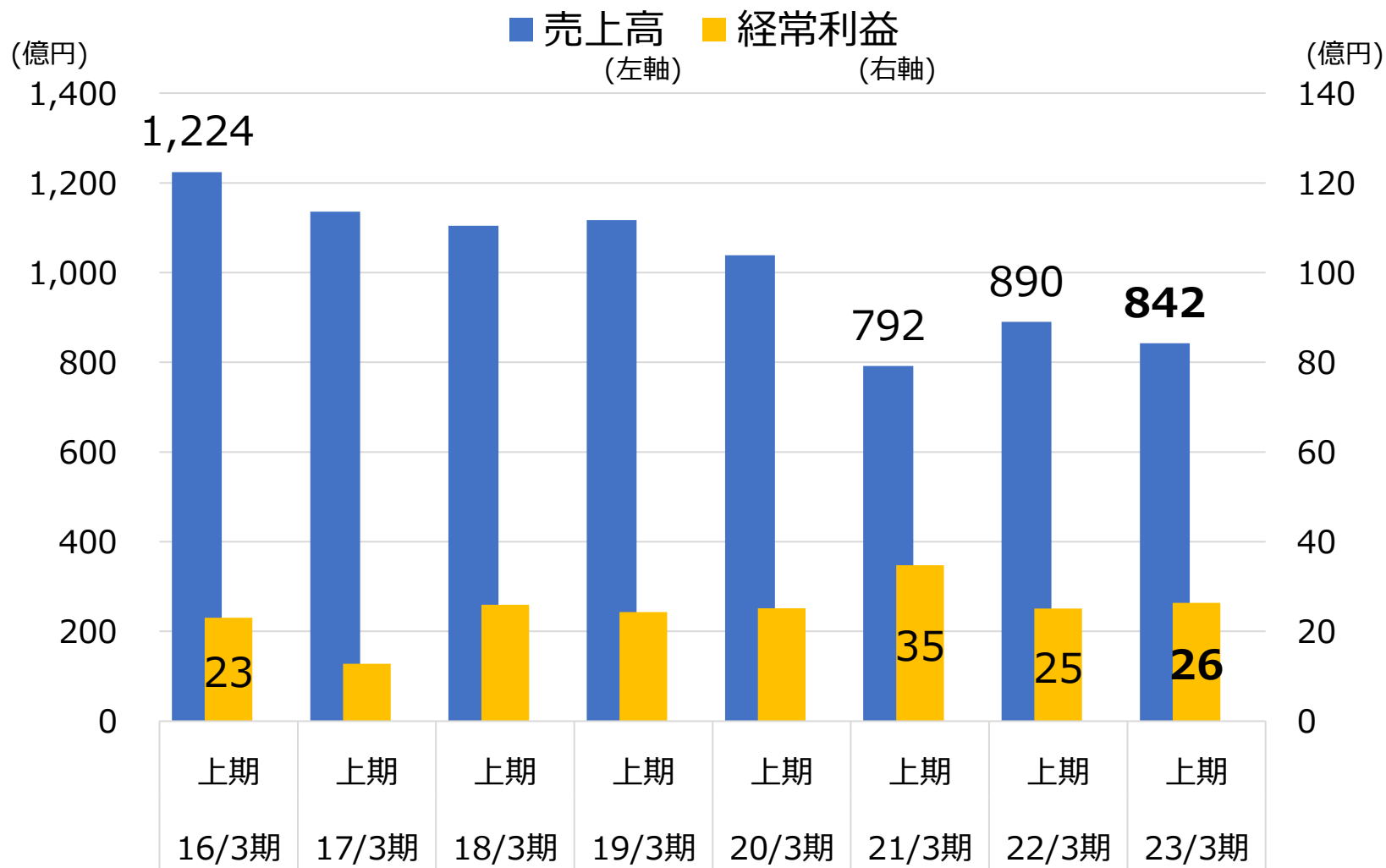


※高級オーディオ専門店「audio square」は除く。

キャリアシヨップ運営事業 上期 業績推移

02

セグメント別
2023年3月期 上期 決算実績

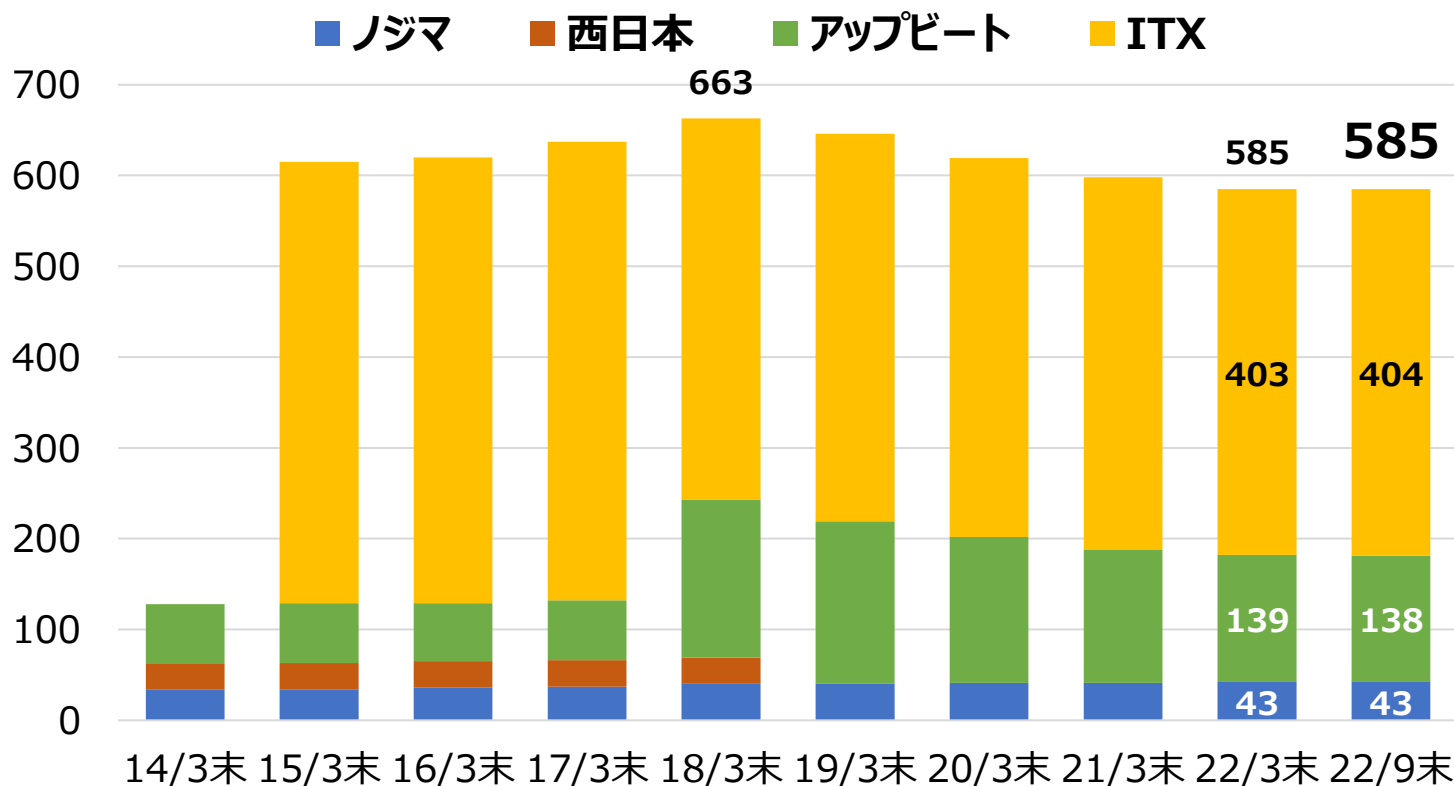


キャリアショップ運営事業 出退店・店舗数推移

02

セグメント別
2023年3月期 上期 決算実績

	キャリアショップ運営事業
新店	6 店舗
閉店	6 店舗
純増	0 店舗



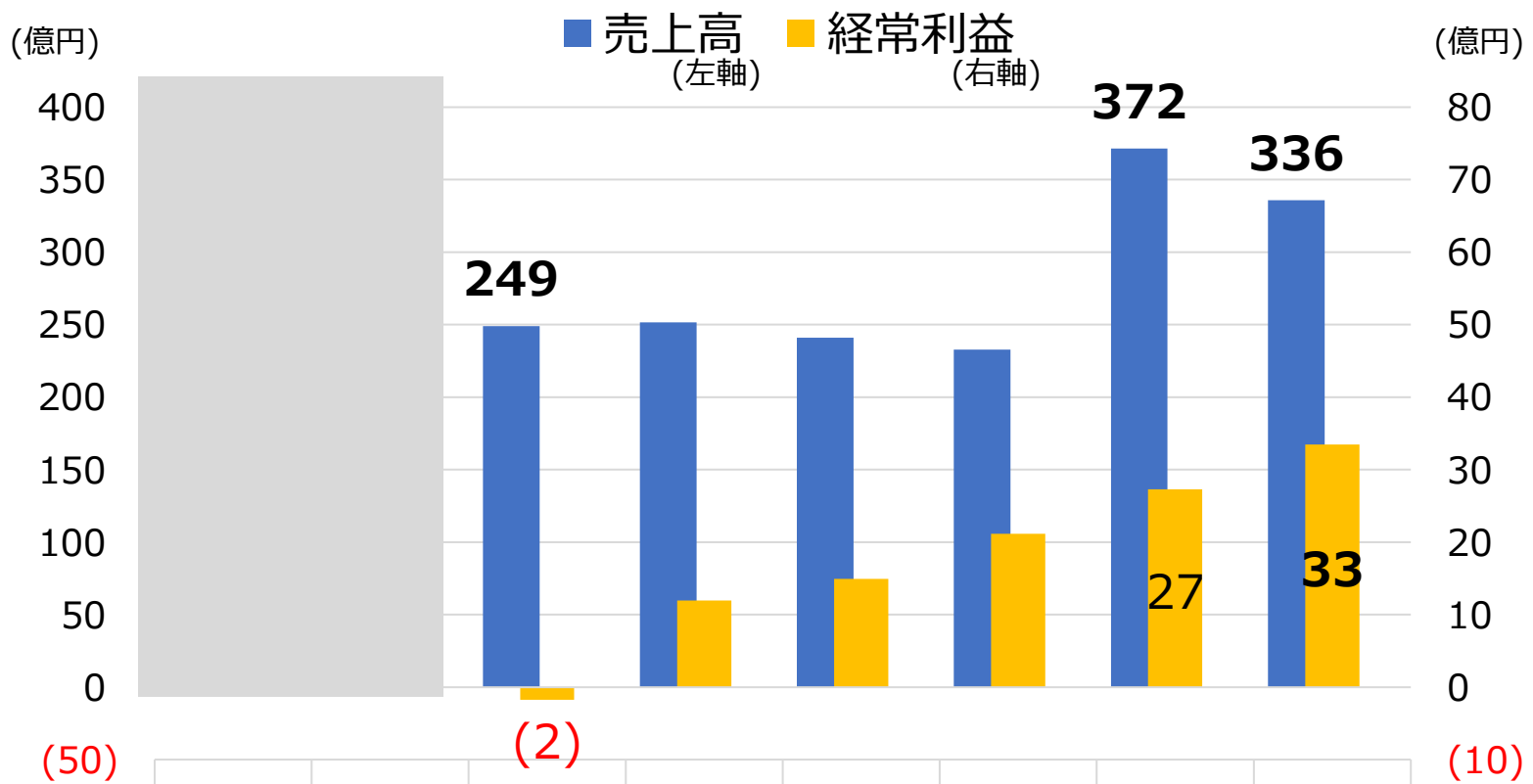
※2017年7月1日より、ITXからアップビートへ、ソフトバンクショップ等を100店舗移管しております。

※2018年4月1日付で、西日本モバイルはITXへ吸収合併しております。

インターネット事業 上期 業績推移

02

セグメント別
2023年3月期 上期 決算実績

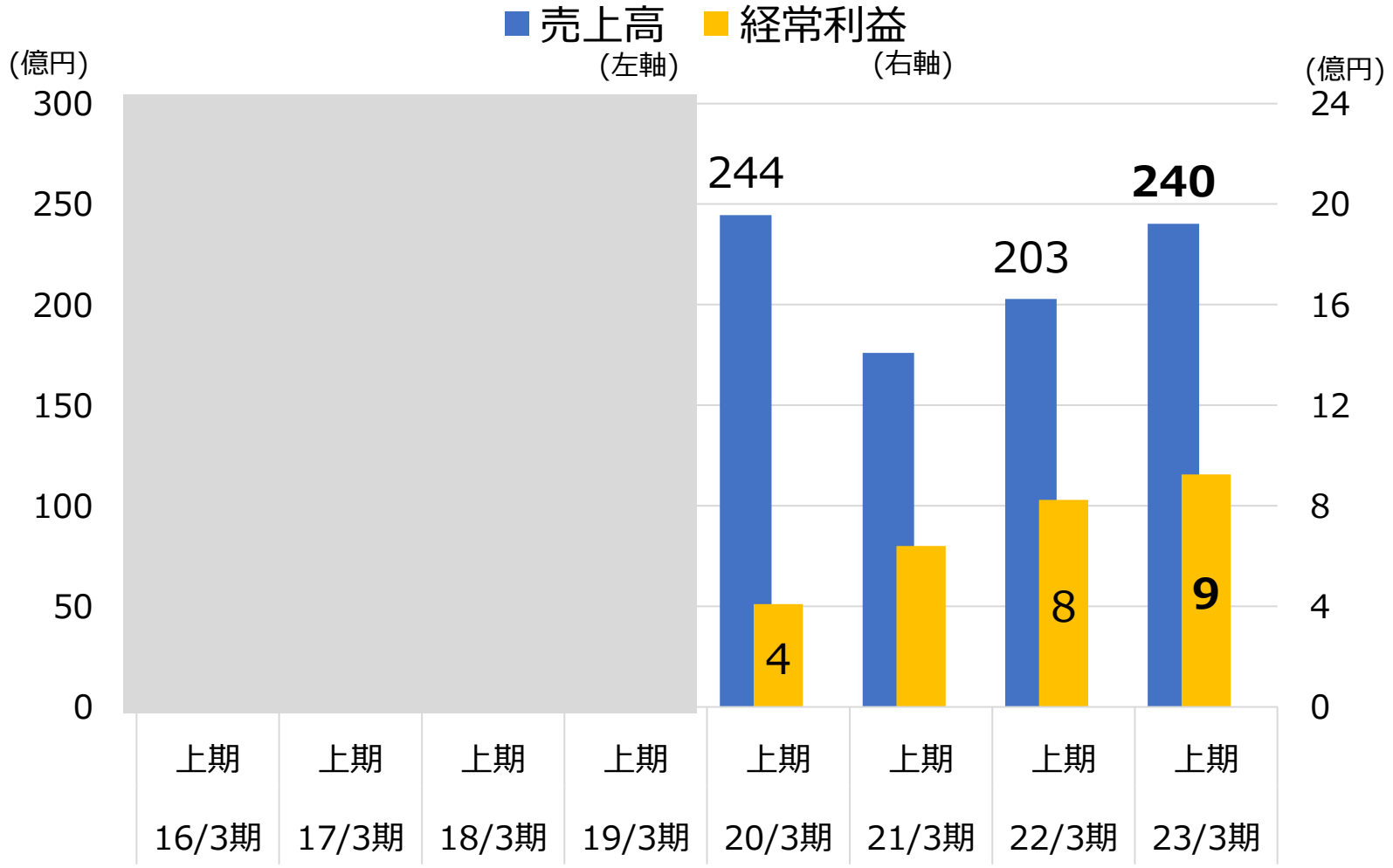


上期	上期	上期	上期	上期	上期	上期	上期
16/3期	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期	22/3期	23/3期

海外事業 上期 業績推移

02

セグメント別
2023年3月期 上期 決算実績



03

トピックス

Global Logic Japan株式会社をDX推進パートナーとし、
ノジマが取り組むDX戦略の実行・具現化に向けた
協創プロジェクトを開始

GlobalLogic® HITACHI
A Hitachi Group Company Inspire the Next

nojima

**ノジマのコンサルティングセールス×Global LogicのDX技術で
これまでにない新しい顧客体験価値の創造へ**

当社子会社であるAXN株式会社が、 株式会社ザ・シネマを子会社化



海外ドラマチャンネルと
ミステリー専門チャンネルを運営



ハリウッド最新作やクラシック映画、
日本未公開作品等をラインナップ

より魅力ある衛星放送チャンネルへの進化を図るとともに、
当社グループとの更なるシナジー発揮を目指す

ESGやSDGsが叫ばれる以前より、様々な形で社会へ貢献

【寄付による社会貢献】

- [1984年～]利益の一部を地方自治体へ寄付
 - [2021年]新型コロナウイルスに関する寄付
- 1都3県より推薦をいただき、計4件の紺綬褒章を受章



【環境に配慮した店舗運営】

- [2007年～]石油暖房器具取り扱いなし
 - [2013年完了]店舗照明、看板のLED化
 - [2019年完了]電子棚札の全店導入による紙の削減
 - [2021年12月～]下取りチェッカーの導入
 - [2022年4月～]省エネコンサルタント資格制度の導入
-
- [2017年～]社内婚活イベント「NOJIKON」
 - [2020年7月～]80歳までの延長雇用
 - [2020年～2021年]他業種からの出向受け入れ
- JAL、ANA等から250名以上を受け入れ
- [2022年7月～]物価上昇手当の導入



- ◇在日ウクライナ大使館へ1億円寄付
- ◇「オール横浜 支援パッケージ」へ参画
- ◇店頭、ノジマオンラインでの寄付受付



『Buddycom』 翻訳機能の ウクライナ語対応を提案

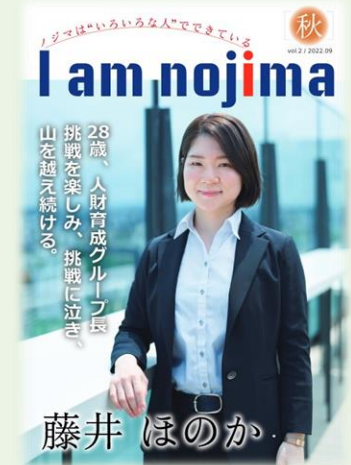
ウクライナからの避難民の方の
就労支援に貢献
商品センターでの就労支援も実施





30代の女性役員 石原 彩子

入社時はパートナー
(アルバイト雇用)



社内広報誌 I am nojima

ノジマで活躍する従業員を特集
WEBサイトでも公開中
※画像をクリックするとリンクが表示されます

社歴・性別・雇用形態・国籍に縛られず、
すべての従業員が適材適所で活躍

横浜DeNAベイスターズ
公式ユニフォームスポンサー



ノジマチャンピオンカップ
箱根シニアプロゴルフトーナメント



ノジマステラ
神奈川相模原



ノジマ相模原ライズ
スポンサー



Tリーグ
タイトルパートナー



フィギュアスケート 鍵山 優真選手
スポンサー (2022年7月～)



ノジマアンバサダーとしてCMにも出演

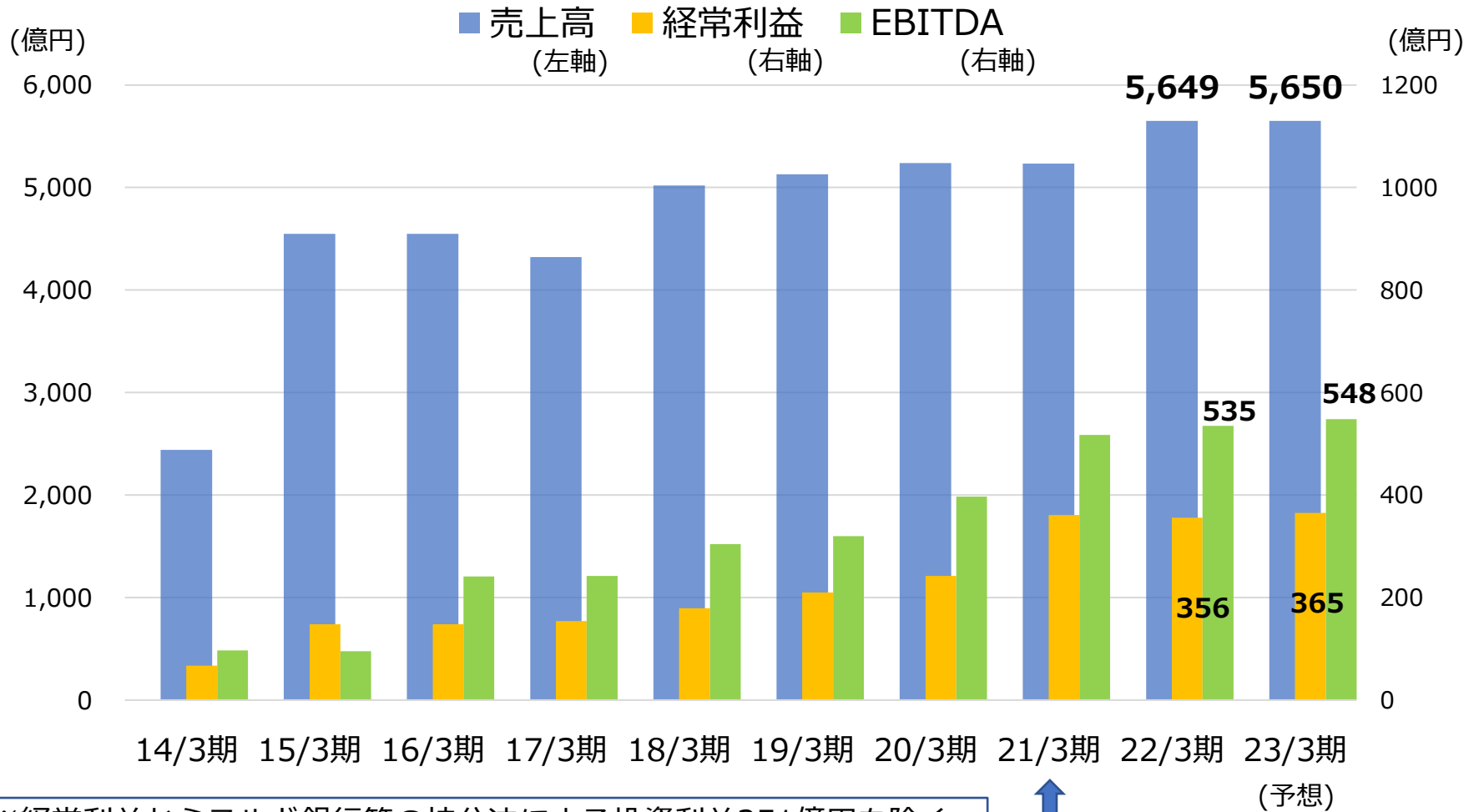
04

2023年3月期 業績予想

ノジマ連結 業績予想

04

2023年3月期
業績予想

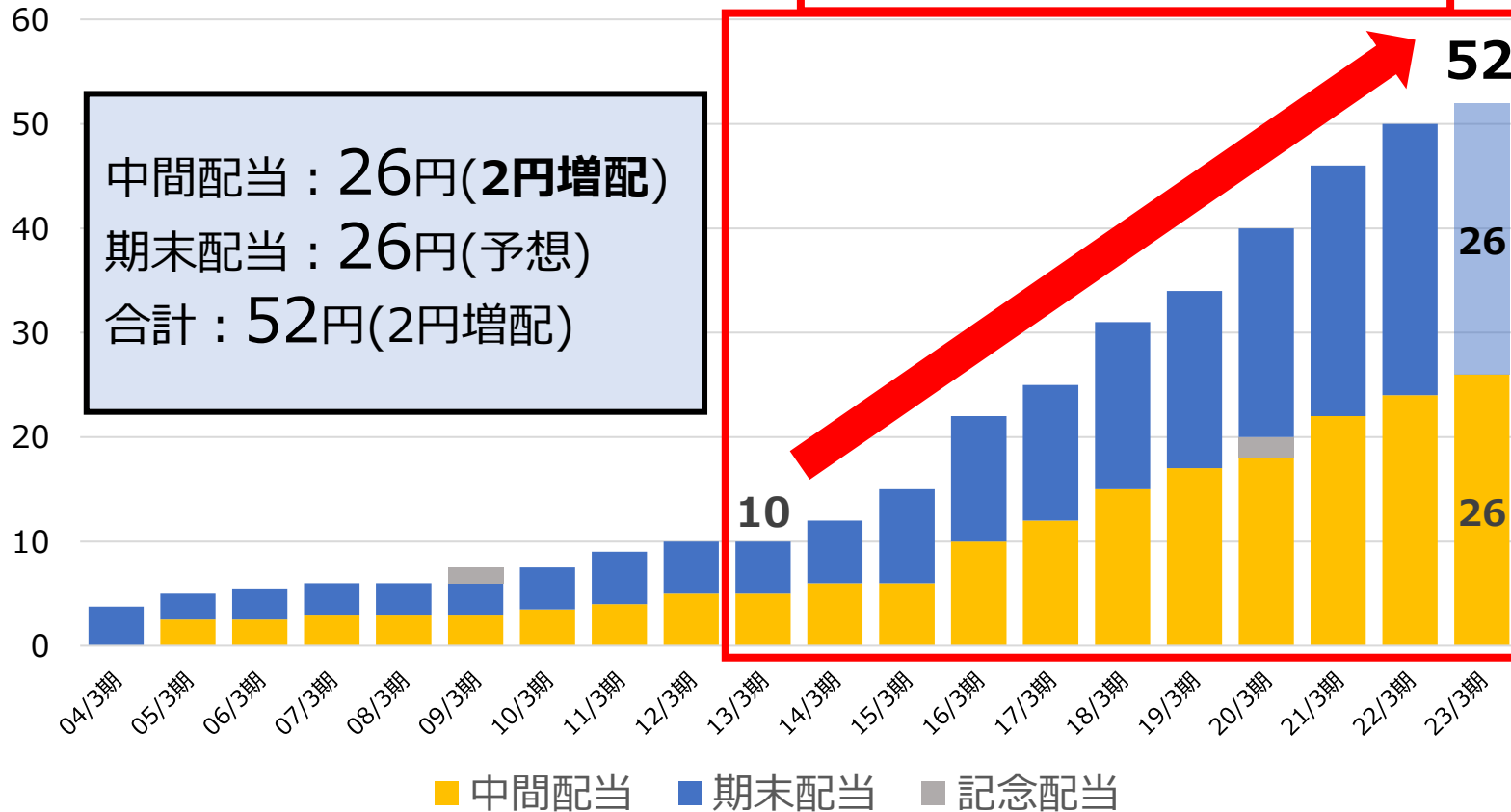


※経常利益からスルガ銀行等の持分法による投資利益251億円を除く。

**10期連続増配
10年で5倍以上の配当額に**

(円/株)

中間配当：26円(2円増配)
 期末配当：26円(予想)
 合計：52円(2円増配)



※2022年10月1日に、1株につき2株の割合をもって株式分割を行っておりますが、上図は株式分割反映前の数値となります。

※2015年7月に、1株につき2株の割合をもって株式分割を行っており、遡及修正しております。

05

ノジマグループについて

会社名	株式会社ノジマ
本社	横浜市西区南幸1-1-1 JR横浜タワー 26階
創業	1959年8月
代表者	取締役兼代表執行役社長 野島 廣司
従業員数	連結 10,317名 ※2022年3月末時点
上場市場	東京証券取引所 プライム市場 (証券コード：7419) (JPX日経インデックス400銘柄)



1959年	野島電気工業社を神奈川県相模原市に創設
1991年	(株)ノジマに商号変更
1993年	家電流通業界で初めてNTTドコモ一次代理店の権利を取得
1994年	日本証券業協会に株式を店頭登録
2003年	業界に先駆けて委員会設置会社へ移行（現指名委員会等設置会社）
2007年	(株)真電を吸収合併
2013年	<ul style="list-style-type: none"> ・チャンアインデジタルワールド(株)（ベトナム）と資本業務提携 ・カンボジアに子会社Nojima (Cambodia) Co., Ltd.設立
2014年	<ul style="list-style-type: none"> ・(株)ケンウッド・ジオビット（現(株)アップビート）を子会社化 ・(株)ビジネスグランドワークスを子会社化
2015年	アイ・ティー・エックス(株)を子会社化
2016年	東京証券取引所市場第一部に市場変更
2017年	<ul style="list-style-type: none"> ・ニフティ(株)を子会社化 ・(株)ジオビットモバイルを(株)アップビートに商号変更
2019年	<ul style="list-style-type: none"> ・COURTS Asia Limitedを子会社化 ・日本で初めて電子棚札を100店舗以上に導入
2020年	<ul style="list-style-type: none"> ・スルガ銀行(株)を持分法適用関連会社化 ・Nojima (Cambodia) Co., Ltd.をCOURTS Asia Limitedの傘下に統合
2021年	<ul style="list-style-type: none"> ・子会社のニフティ(株)が、(株)ディノス・セシールよりセシール事業を買収 ・AXN(株)を子会社化 ・ITX(株)をITXとITXコミュニケーションズに分社化 ・ニフティライフスタイル(株)が東京証券取引所マザーズへ新規上場
2022年	<ul style="list-style-type: none"> ・シグニ(株)の全株式を譲渡（3月） ・スルガ銀行(株)との資本業務提携を解消、同行の全株式を売却（3月） ・子会社のAXN(株)が、(株)ザ・シネマを子会社化（10月）

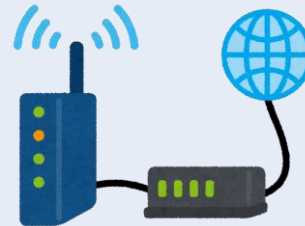
デジタル家電専門店 運営事業	
キャリアショップ 運営事業	  
インターネット事業	@nifty  cecile  ニフティライフスタイル
海外事業	
その他	  企業教育研修コンサルティング  

コンサルティングセールス

ノジマは**メーカー販売員のいない唯一の家電専門店**です。
メーカーやキャリアに縛られないフラットな立場で、
自社従業員がお客様のニーズに合った商品をおすすめする
「コンサルティングセールス」による接客を行っています。



デジタル一番星



デジタルGS4(Goods・Soft・Support・Service・Solution)を
提供・普及させ、地域と日本の発展に貢献することがノジマの志です。
従業員が全員経営の精神を持って行動し、
「デジタル一番星」として新しい価値をどこよりも早く提供してまいります。

IRに関するお問合せ先

株式会社ノジマ

〒220-0005 神奈川県横浜市西区南幸1-1-1

J R横浜タワー 26階

TEL : 050-3116-6500

IR担当

■ 将来見通しに関する注意事項

- ・本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません
- ・本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保障を与えるものではありません
- ・また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予測と異なる結果になることがある点を確認された上で、ご利用ください
- ・また、業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保障するものではありません
- ・本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません



『デジタル一番星』となって
地域社会と日本の発展に貢献する